

# ツキノワグマと共に暮らす

## — 栃木と秋田の現場から —

豊かな森に恵まれた日本には、大型哺乳類のクマが生息しています。本州以南に生息するツキノワグマは、本来は森の奥深くに暮らしていますが、様々な事情によって人里に現れることがあります。昨年、秋田では、4人が死亡し2人が重傷を負う、ツキノワグマによるもので知られている中では、かつてない重大な人身被害が発生しました。このいまわしい事件以来、人里へのクマの出没が数多く報道されるなど、人々のクマに対する感じ方も変化しつつあるようです。そこで、今回のJWMS鳥獣管理フォーラムでは、秋田では一体、何が起きたのか、またその背景には何があったのか、現場から報告いただくことにしました。さらに、栃木をフィールドにした最新のツキノワグマの生態研究報告を踏まえ、「ツキノワグマと共に暮らす」ために必要な保全管理のあり方について、ディスカッションしたいと思います。

**平成29年5月28日（日） 13：30から** 16：30まで  
※ 開場 13：00

**宇都宮大学 峰キャンパス 5B21 教室** **事前申込み不要・無料**  
※ 資料代別途 500円

〒321-8505 宇都宮市峰町 350

※ JR 宇都宮駅西口よりバス 20分位

※ 駐車場は正門入口で手続の上ご利用下さい

主催 一般社団法人 鳥獣管理技術協会 共催 宇都宮大学地域連携教育研究センター

内容 開会挨拶（杉田昭栄 JWMS 会長・宇都宮大学教授）  
鳥獣管理士資格制度と CPD について（高橋俊守 JWMS 事務局長・宇都宮大学教授）  
趣旨説明（三浦慎悟 JWMS 理事・早稲田大学教授）  
基調講演 1 「秋田のクマとヒトの現状」  
小松武志（北秋田市くまくま園 園長 獣医師）  
基調講演 2 「栃木のツキノワグマの生態 足尾・日光地域の調査から見えてきたこと」  
小池伸介（東京農工大学大学院農学研究院 准教授）  
パネル討論「ツキノワグマと共に暮らす」  
総括コーディネート 三浦慎悟（早稲田大学教授）  
閉会挨拶（小金澤正昭 JWMS 副会長・宇都宮大学 特任教授）

対象 一般、行政機関等担当者、鳥獣管理技術者、大学生、高校生ほか

